

新年にあたり

〜 一日の計は朝にあり、
一年の計は元旦にあり〜



代表理事組合長
原 浩



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素はJAふかやの事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年度におけるJAふかやは、4月に元総合渉外担当職員による現金紛失をはじめとする不祥事が発生いたしました。11月には地元警察署に被害届けを提出しており、当JAでの内部調査も進めておりますが、全容の把握には時間がかかるものと思われれます。被害に遭われた方々、JAふかやの組合員はじめ、ご利用いただいております皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。8月には、埼玉県農協組合長会において「不祥事撲滅に向けた共同宣言」を發出したところですが、関係各方面に対しても、今回の不祥事により多大なご迷惑・ご心配をおかけしておりますこと、重ねてお詫び申し上げます。現在は、「不祥事再発防止策（兼整備計画）」を策定し取り組んでおりますが、今後、コンプライアンス意識のさらなる醸成と内部統制の強化に取り組んでまいります。

令和5年は、統計開始以来の最も暑い夏となりました。この傾向は11月初旬まで続き、世界的な異常気象とともに、農畜産物の全般に亘って大きな影響を受けた年といえます。また、昨年と同様にあらゆる分野において値上げが実施され、国民生活には厳しい影響が及んだ1年でありました。

管内の農業情勢ですが、前半は野菜類全般について比較的好調を維持できておりましたが、夏場以降は高温障害の影響や病害虫などの発生によって、農産物の品質・収量には相応なマイナス要因となった部分がありました。米の状況についても同様で、高温による白未熟粒の発生が品質低下の要因となり、JAふかやで集荷した主食用米（コシヒカリ・キヌヒカリ・彩のかがやき・彩のきずな・ほしじるし）について、個人調製及び共同乾燥調製施設などを合わせて推計した等級割合ですが、1等が約19・6%、2等が約24・8%、3等が約47・9%、規格外が約7・7%で、予想されてはいましたが、厳しい結果となっております。政府には、農畜産物の適正な価格形成に向けた仕組みを早急に構築してほしいと願っています。生産コストの激しい高騰に晒されながらも、価格転嫁は進まず、再生産が可能なレベルには届かない、非常に厳しい現実があります。生産コストが価格に適正に反映されなければ、農業を続けることは難しくなります。本年もJAグループを挙げて、食料安全保障や物流の2024年問題への対応等と併せ、農畜産物の価格転嫁・適正価格の実現に向け、消費者の皆様の理解醸成に努めてまいります。

〜 一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり〜

令和6年が組合員・地域の皆様にとって良き年となるようご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。